

子ども・子育て支援対策調査 特別委員会報告資料

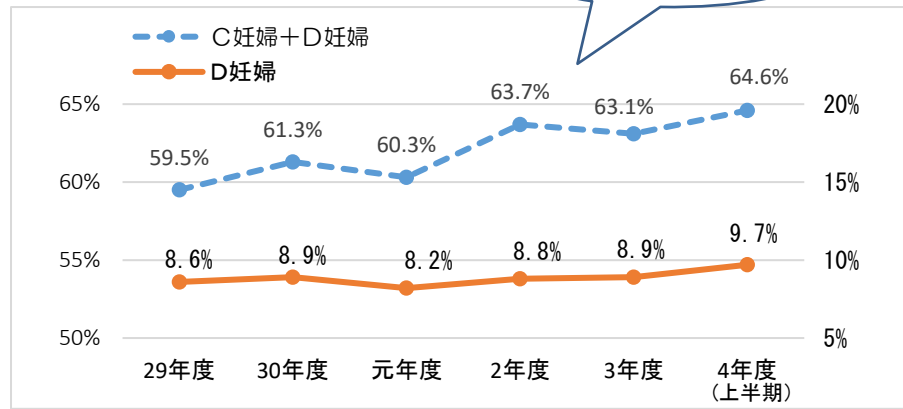
令和4年11月16日

報告事項件名	頁
1 令和4年度「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト（ASMAP）」の活動状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 令和3年度デイサービス型産後ケア利用者アンケートの集計結果について・・・	9

(衛 生 部)

<p>件名</p>	<p>令和4年度「あだちスマイルママ&エンジェルプロジェクト (ASMAP)」の活動状況について</p>																												
<p>所管部課名</p>	<p>衛生部 保健予防課</p>																												
<p>内容</p>	<p>令和4年度上半期の活動状況について、下記のとおり報告する(詳細はP7~8参照)。</p> <p>1 妊娠届出及びアンケートについて</p> <p>(1) 妊娠届出場所 (図1)</p> <p>区民事務所では妊娠届出のみとなり、後日改めて面接を実施することになる。</p> <p>妊娠届出と同時にスマイルママ面接を実施し、こども商品券をその場で受け取ることができる保健予防課や保健センター等への届出を周知徹底したため、令和3年度の70.2%から令和4年度上半期の74.4%に4.2ポイント増加している。</p> <p>図1 妊娠届出場所の年次推移</p> <table border="1"> <caption>図1 妊娠届出場所の年次推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>保健予防課 (%)</th> <th>保健センター等 (%)</th> <th>区民事務所 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29年度</td> <td>22.6%</td> <td>20.2%</td> <td>57.2%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>23.7%</td> <td>22.4%</td> <td>53.9%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>23.3%</td> <td>26.6%</td> <td>50.1%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>30.8%</td> <td>29.1%</td> <td>40.1%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>34.8%</td> <td>35.4%</td> <td>29.8%</td> </tr> <tr> <td>4年度 (上半期)</td> <td>40.2%</td> <td>34.2%</td> <td>25.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 妊婦の支援区分 (図2)</p> <p>何らかの支援を必要とする人の割合 (C及びD) は、令和3年度は63.1%で、令和4年度上半期は64.6%と微増している。</p> <p>※ C2 : 主に身体的リスクがあり助産師の保健指導を要する妊婦</p> <p>C1 : 特定妊婦ではないが、社会的・心理的リスクがあり保健師の継続支援が必要な妊婦</p> <p>D : 出産後の養育について出産前に支援を行うことが必要な特定妊婦</p>	年度	保健予防課 (%)	保健センター等 (%)	区民事務所 (%)	29年度	22.6%	20.2%	57.2%	30年度	23.7%	22.4%	53.9%	元年度	23.3%	26.6%	50.1%	2年度	30.8%	29.1%	40.1%	3年度	34.8%	35.4%	29.8%	4年度 (上半期)	40.2%	34.2%	25.6%
年度	保健予防課 (%)	保健センター等 (%)	区民事務所 (%)																										
29年度	22.6%	20.2%	57.2%																										
30年度	23.7%	22.4%	53.9%																										
元年度	23.3%	26.6%	50.1%																										
2年度	30.8%	29.1%	40.1%																										
3年度	34.8%	35.4%	29.8%																										
4年度 (上半期)	40.2%	34.2%	25.6%																										

図2 支援が必要な妊婦の年次推移



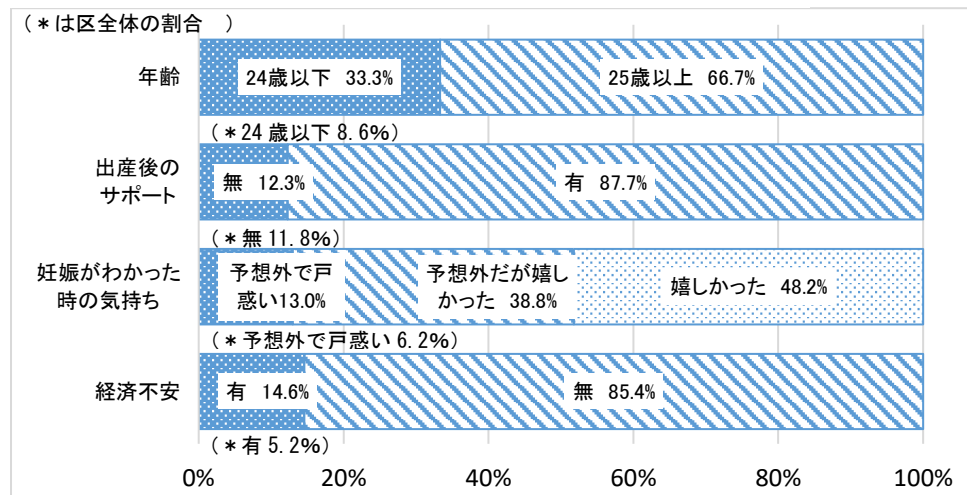
(3) 妊娠届出時に該当が多いリスク項目

ア 届出時シングル (12.9%) (図3)

妊娠がわかった時に「予想外で戸惑いがあった」割合は、妊婦全体の割合よりも6.8ポイント高かった。また、経済状況に不安がある妊婦の割合も9.1ポイント高い。

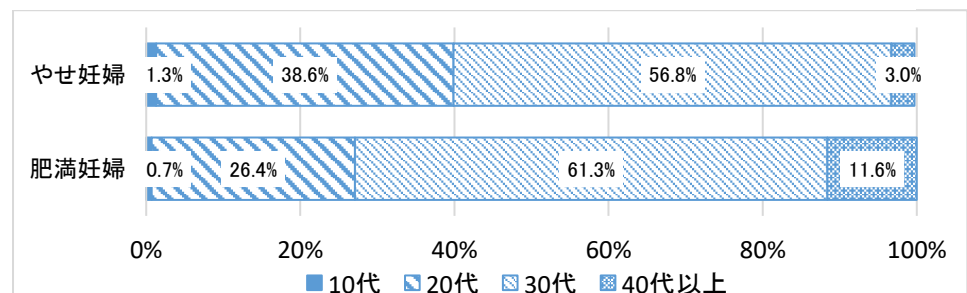
イ やせ (12.4%)・肥満 (12.8%) (図4)

図3 届出時シングルと回答した者(278人)の内訳(割合)



若い年代の妊婦は、やせている傾向がある。

図4 やせ(266人)・肥満(276人)と回答した者の年代別内訳(割合)



3 令和4年度上半期（令和4年4月～9月）事業実績

(1) スマイルママ面接

保健師等による妊婦全数面接により、妊婦の心身状態・家庭状況等を把握し、適切なケアを行う。面接をした方には、育児パッケージとして「こども商品券」10,000円分を配付する。

ア 面接者数（こども商品券配付数） 1,965人

※ 令和4年上半期届出者（転入含む）2,318人に対する令和4年9月30日までの対応分

イ 未面接者353人の主な理由

（ア）区民事務所に届出た方

（イ）保健予防課・保健センター等で代理人が届出た方

（ウ）保健予防課・保健センター等で届出たが、当日急いでおり面接の時間がなかった方

※ 上記いずれも、後日予約して面接を行う予定

(2) ファーストバースデーサポート（令和4年9月30日現在）

成長の節目の年齢となる1歳時にアンケートを郵送して育児状況を把握し、適切なケアにつなげる。アンケートを返送した方には、育児パッケージとして「こども商品券」を配付する。

【アンケートの回答状況】

※ 発送は1歳になるお子さんを毎月抽出

ア 発送数 2,269人

イ 回答数 2,080人

ウ 未回答 189人

エ 回答率 91.7%

【こども商品券配付状況】

ア 第1子（10,000円分） 1,004人

イ 第2子（20,000円分） 770人

ウ 第3子以降（30,000円分） 306人

(3) 多胎児家庭移動支援（令和4年9月30日現在）

多胎児が0歳・1歳・2歳時に、保健師等が保護者と面接を実施し、育児状況を把握する。面接終了者については、母子保健事業利用時の移動の支援として、タクシー利用時に使用できる「こども商品券」24,000円分（一世帯あたり）を配付する。

ア 面接者数（こども商品券配付数） 61人

0歳 21人

1歳 17人

2歳 23人

(4) 宿泊型産後ケア

産後に家族等から十分な支援が受けられず、育児に不安のある方などを対象に、宿泊型で心身のケアや育児サポートを実施している。妊娠8か月以降から申請を受け付けている。産後4か月未満、6泊7日までを上限に1日5,000円の自己負担で利用できる。

- ア 申請者数 224人
- イ 利用者数 90人
- ウ 利用日数 488日
- エ 利用者アンケート

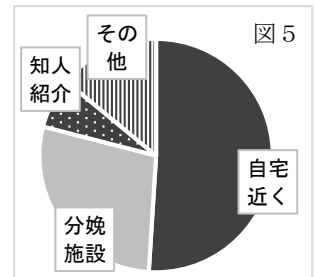
35名から回答あり。

(ア) この事業を何で知りましたか(重複ありのため上位のみ)。

- ① 実施施設からの案内 30%
- ② 区ホームページ 23%

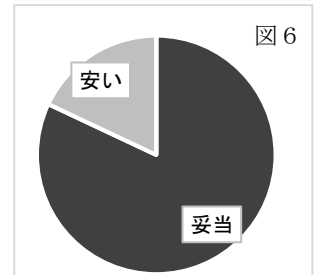
(イ) 今回利用の施設を選んだ理由は何ですか(図5)。

- ① 自宅に近い 51%
- ② 分娩施設 28%
- ③ 知人等からの紹介 7%
- ④ その他 14%



(ウ) 自己負担金(1日5,000円)は妥当でしたか(図6)。

- ① 妥当 82%
- ② 安い 18%
- ③ 高い 0%

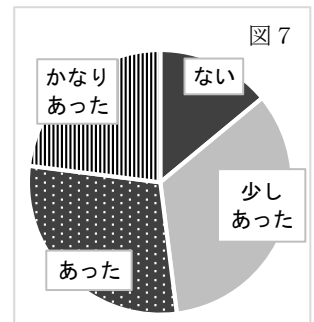


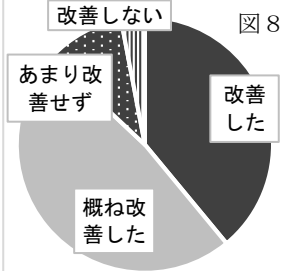
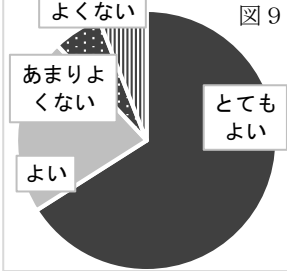
(エ) どんなことを目的として利用したいと思いましたが(重複ありのため上位のみ)。

- ① 休息 36%
- ② 育児に関する助言・相談 24%

(オ) 出産後、体調不良や育児不安、精神的に不安定になったことはありましたか(図7)。

- ① なかった 14%
- ② 少しあった 34%
- ③ あった 29%
- ④ かなりあった 23%



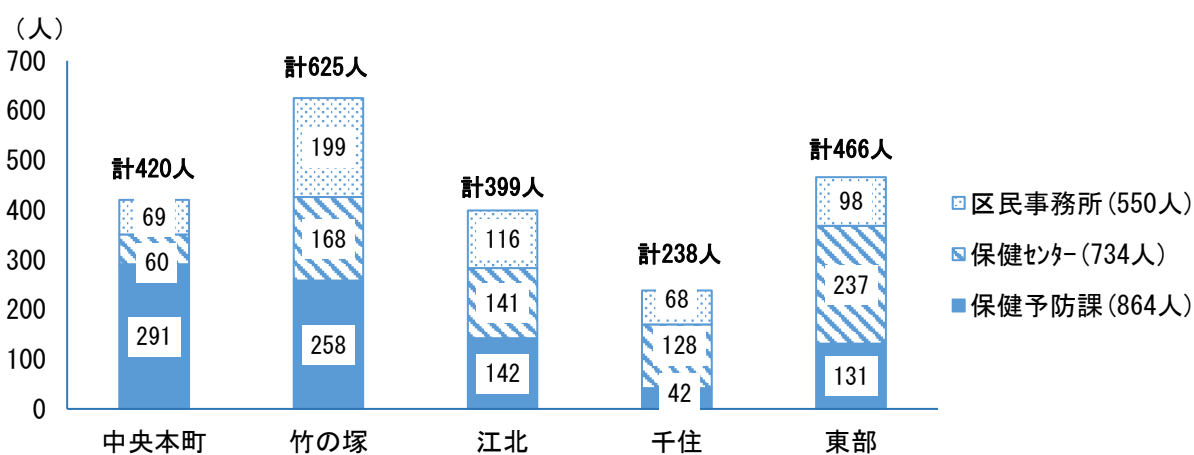
	<p>(カ) 産後ケアを利用したことで、不調や不安は改善されましたか(図8)。</p> <p>① 改善された 39%</p> <p>② 概ね改善された 48%</p> <p>③ あまり改善されなかった 10%</p> <p>④ 改善されなかった 3%</p>  <p>(キ) 今回の産後ケア施設の利用は、全体的に満足のいく内容でしたか(図9)。</p> <p>① とてもよかった 66%</p> <p>② よかった 22%</p> <p>③ あまりよくなかった 6%</p> <p>④ よくなかった 6%</p>  <p>※ (カ)・(キ)の低評価は、実施施設における相談対応への不満によるもの。該当施設には情報提供し、改善を要望した。</p> <p>(ク) その他意見</p> <p>【感謝】</p> <p>① ベテランの助産師・保育士の方にたくさん指導してもらえてとても心強かった。</p> <p>② 乳房マッサージをしてくれたり、授乳についてアドバイスをもらえて身体が楽になった。</p> <p>③ 授乳の仕方・かかわり方・パパのトレーニングと盛りだくさんの内容を経験でき、休息もしっかりとれた。</p> <p>④ 赤ちゃんはかわいいが24時間頑張り続けることは無理。宿泊型産後ケアがあったからどうにか育児ができていていると思う。</p> <p>【要望】</p> <p>① とてもいい取り組みだが、その人の状況に合わせ、どんなケアが必要か提案してくれるともっと有効である。</p> <p>② 実施施設をもっと増やして、もっと選べるようにしてほしい。</p>
<p>問題点 今後の方針</p>	<p>(1) 支援が必要な世帯に対する寄り添い支援を継続強化しつつ、全妊産婦に対する支援を「スマイルママ面接」や「ファーストバースデーサポート」等で実施し、ASMAP事業の充実を図っていく。</p> <p>(2) 産後ケアについては、利用状況やアンケート結果などを参考に、今後の拡充等を検討していく。</p>

● 令和4年度（4月～9月分）妊娠届対応実績 <区全体> ●

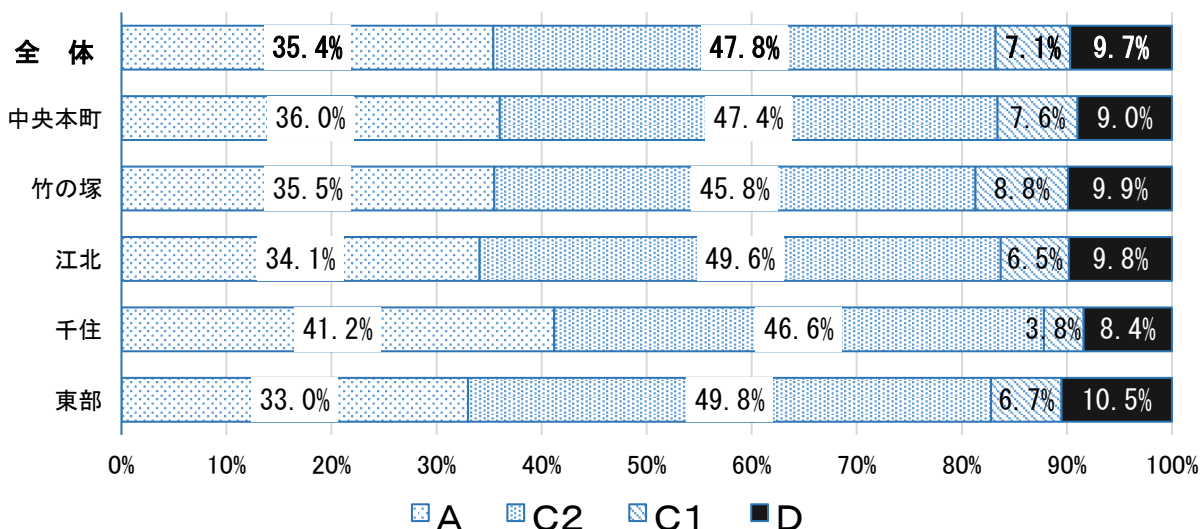
【妊娠届出場所別】総数 2,148人

届出場所	届出人数	受付割合(%)	3年度割合(%)
保健予防課	864	40.2	34.8
保健センター	734	34.2	35.4
区民事務所	550	25.6	29.8
計	2,148	100	100

【妊娠届出場所・保健センター等管轄別人数】総数 2,148人



【保健センター等管轄別妊婦支援区分】



<妊婦支援区分>

A : リスク項目該当なし 通常の母子保健対象妊婦

C2 : 主に身体的リスクがあり助産師の保健指導を要する妊婦

C1 : 特定妊婦ではないが、社会的・心理的リスクがあり保健師の継続支援が必要な妊婦

D : 出産後の養育について出産前に支援を行うことが必要な特定妊婦

(*) 区分Bは、その後のフォローにより継続支援が必要なしと判断された区分のため、初回面接は該当者はいない。

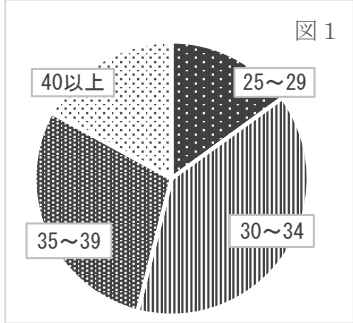
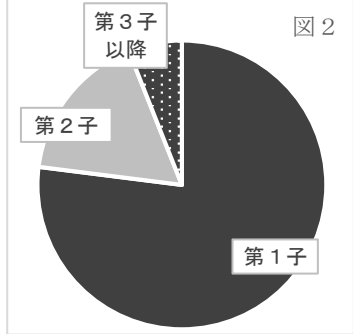
令和4年度（4月～9月分）妊娠届 アンケート集計 <区全体>

アンケートリスク項目	中央	竹の塚	江北	千住	東部	計	割合	3年度 割合
届出時シングル	63	95	47	15	58	278	12.9%	12.4%
BMI 25以上（肥満）	54	70	56	26	70	276	12.8%	12.8%
BMI 18.5未満（やせ）	52	73	56	29	56	266	12.4%	13.2%
出産後のサポートがない	52	71	46	24	60	253	11.8%	13.2%
20～24歳	31	57	33	11	37	169	7.9%	7.3%
予想外の妊娠で戸惑った・困った	24	41	28	16	24	133	6.2%	6.4%
上の子や家族のことで心配あり	21	36	24	12	35	128	6.0%	6.1%
その他（心身の体調不良等）	21	39	15	17	34	126	5.9%	4.5%
前回の妊娠・出産の異常	34	32	16	10	28	120	5.6%	6.5%
経済不安	28	32	22	8	22	112	5.2%	5.5%
精神科治療中・既往あり	22	26	17	16	28	109	5.1%	4.3%
多産（4回以上の妊娠）	19	33	23	12	14	101	4.7%	4.1%
精神以外要支援の病気	25	28	11	10	22	96	4.5%	5.6%
困った時助けなし	15	20	13	4	18	70	3.3%	3.2%
40歳以上の初妊	17	12	12	6	16	63	2.9%	2.2%
第1子若年	6	16	12	0	10	44	2.0%	1.9%
支援の必要な外国人	7	17	4	1	10	39	1.8%	1.2%
本人の喫煙	3	15	4	5	11	38	1.8%	1.3%
生保・保険なし	5	9	8	1	4	27	1.3%	1.0%
多胎 双子以上	4	8	5	4	4	25	1.2%	1.1%
本人の飲酒	3	7	6	2	4	22	1.0%	0.8%
若年 20歳未満	2	5	4	0	3	14	0.7%	1.0%
妊娠届時20週以降	1	5	3	2	3	14	0.7%	0.7%
関係機関連絡・DV・虐待	3	4	1	0	6	14	0.7%	0.4%

妊娠届 総数	420	625	399	238	466	2,148		2,203
--------	-----	-----	-----	-----	-----	-------	--	-------

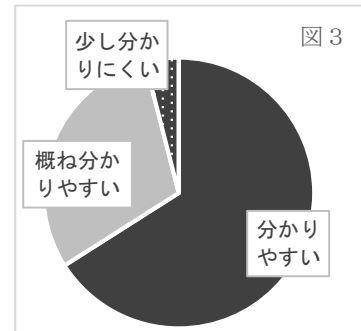
子ども・子育て支援対策調査特別委員会報告資料

令和4年11月16日

件名	令和3年度デイサービス型産後ケア利用者アンケートの集計結果について																																	
所管部課名	衛生部 保健予防課																																	
内容	<p>デイサービス型産後ケアにおいて、生後1歳未満の母子を対象に、心身の不調や育児不安等を抱える母親に休息の場を提供している。令和3年度の利用者アンケートの結果に基づき、今後の産後ケアの拡充の必要性について検討していく。</p> <p>1 アンケート実施期間 令和3年4月～令和4年3月</p> <p>2 回答数 利用者延べ329人中、326人が回答（双子3組）</p> <p>3 利用者年代等</p> <p>(1) 年齢 (図1)</p> <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>20歳未満</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>20歳～24歳</td> <td>0% (1人)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>25歳～29歳</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>30歳～34歳</td> <td>39%</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td>35歳～39歳</td> <td>29%</td> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>40歳以上</td> <td>17%</td> </tr> </table>  <p>(2) 出生順位 (図2)</p> <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>第1子</td> <td>77%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>第2子</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>第3子以降</td> <td>6%</td> </tr> </table>  <p>4 集計結果</p> <p>(1) この事業を何で知りましたか（重複ありのため上位のみ）。</p> <table border="0"> <tr> <td>ア</td> <td>こんにちは赤ちゃん訪問</td> <td>43%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>区ホームページ</td> <td>38%</td> </tr> </table>	ア	20歳未満	0%	イ	20歳～24歳	0% (1人)	ウ	25歳～29歳	15%	エ	30歳～34歳	39%	オ	35歳～39歳	29%	カ	40歳以上	17%	ア	第1子	77%	イ	第2子	17%	ウ	第3子以降	6%	ア	こんにちは赤ちゃん訪問	43%	イ	区ホームページ	38%
ア	20歳未満	0%																																
イ	20歳～24歳	0% (1人)																																
ウ	25歳～29歳	15%																																
エ	30歳～34歳	39%																																
オ	35歳～39歳	29%																																
カ	40歳以上	17%																																
ア	第1子	77%																																
イ	第2子	17%																																
ウ	第3子以降	6%																																
ア	こんにちは赤ちゃん訪問	43%																																
イ	区ホームページ	38%																																

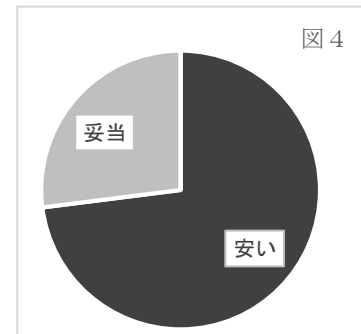
(2) 利用申込み手続きは分かりやすかったですか (図3)。

ア	分かりやすかった	66%
イ	概ね分かりやすかった	30%
ウ	少し分かりにくかった	4%
エ	分かりにくかった	0%



(3) 利用金額 (500円) は妥当でしたか (図4)。

ア	安い	73%
イ	妥当	27%
ウ	高い	0% (1人)

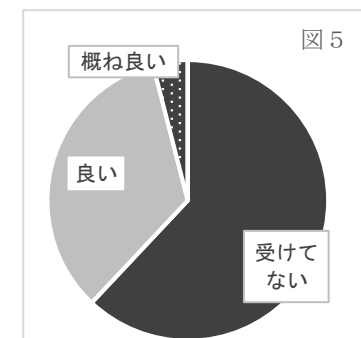


(4) 利用の動機・どんな目的で利用したいと思いましたか (複数回答可のため上位のみ)。

ア	お母さんの休息	88%
イ	育児相談	74%
ウ	リラクゼーション	41%

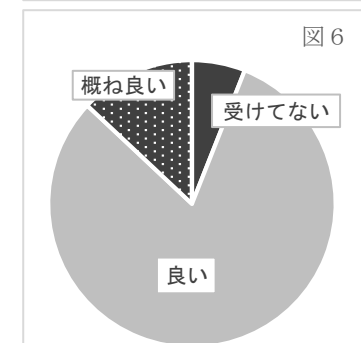
(5) 授乳相談サービス (図5)

ア	受けていない	62%
イ	良かった	34%
ウ	概ね良かった	4%
エ	あまり良くなかった	0% (1人)
オ	良くなかった	0% (1人)



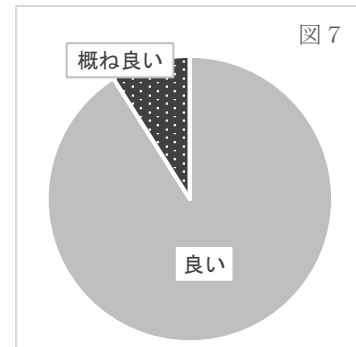
(6) 育児相談サービス (図6)

ア	受けていない	6%
イ	良かった	81%
ウ	概ね良かった	13%
エ	あまり良くなかった	0% (1人)
オ	良くなかった	0%



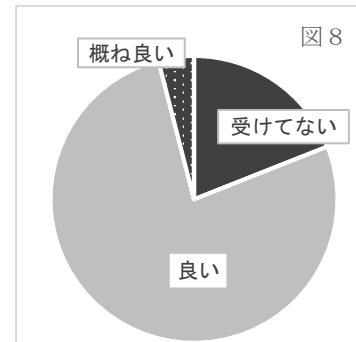
(7) お母さんの休息サービス (図7)

ア	受けていない	0%	(1人)
イ	良かった	91%	
ウ	概ね良かった	9%	
エ	あまり良くなかった	0%	(1人)
オ	良くなかった	0%	



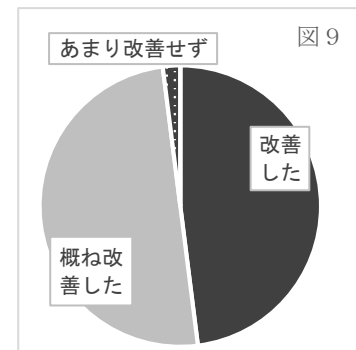
(8) リラクゼーションサービス (図8)

ア	受けていない	19%
イ	良かった	77%
ウ	概ね良かった	4%
エ	あまり良くなかった	0%
オ	良くなかった	0%



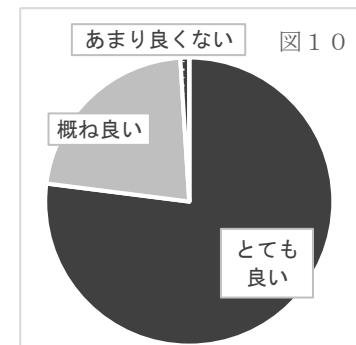
(9) 産後ケアを利用し、お母さんの身体的・心理的不安が改善されましたか (図9)。

ア	改善された	48%
イ	概ね改善された	50%
ウ	あまり改善しない	2%
エ	改善されなかった	0%



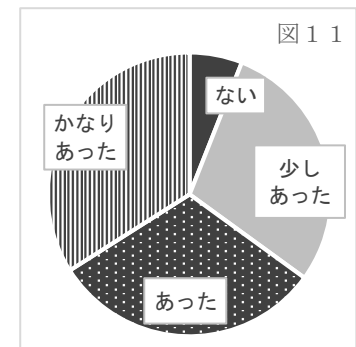
(10) 産後ケア施設の利用は、全体的に満足 of いく内容でしたか (図10)。

ア	とても良かった	77%
イ	概ね良かった	22%
ウ	あまり良くなかった	1%
エ	良くなかった	0%



(11) 出産後に体調不良や育児不安、精神的に不安定になったことがありましたか (図11)。

ア	なかった	6%
イ	少しあった	29%
ウ	あった	31%
エ	かなりあった	34%

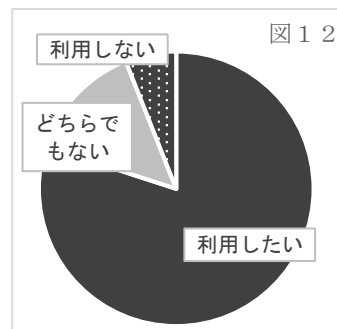


(12) 産後ケアの内容に何があるとよいですか（複数回答可のため上位のみ）。

- ア ゆったりと休息できる環境の提供 78%
- イ 赤ちゃんの夜泣きへの対応など育児方法の相談支援 62%
- ウ 子どもの発達・発育チェックや相談支援 62%
- エ 悩みの相談や励ましなど精神的なサポート 60%

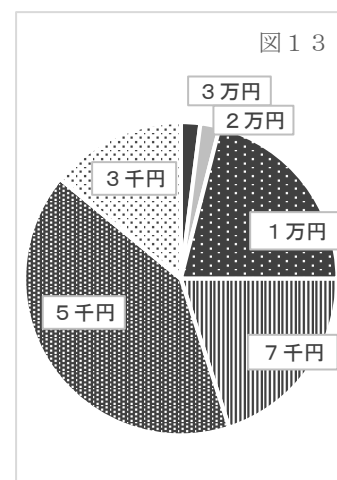
(13) 宿泊型産後ケアがあれば利用したいですか（図12）。

- ア 利用したい 80%
- イ どちらともいえない 14%
- ウ 利用しない 6%



(14) 宿泊型産後ケアは1回につき自己負担費用がいくらまでなら利用しますか（図13）。

- ア 3万円 2%
- イ 2万円 2%
- ウ 1万円 21%
- エ 7千円 20%
- オ 5千円 41%
- カ 3千円 14%
- キ その他 0%



(15) その他意見

【感謝】

- ア 専門職の方の話を聞いたことが良かった。
- イ 5時間は長いと思っていたら、足りないくらいあっという間だった。
- ウ 楽しかったが、たくさん話過ぎてあまり寝られなかった。
- エ 悩んでいることが当たり前のことだと分かって良かった。
- オ 他の人の相談を聞いて、うちもそうだと思えた。
- カ 産後のママにとって他の方と交流できるのはありがたい。

	<p>【要望】 キ 他のお母さん方と話すより相談重視にしてほしい。</p>
<p>問 題 点 今後の方針</p>	<p>(1) 引き続き、「あまり改善しない」「あまり良くなかった」と回答があった項目については、内容により、事業者に改善の要望をしていく。 (2) 利用状況やアンケート結果などを参考に、今後の拡充等を検討していく。</p>